

社会学学位プログラム地域未来創生教育コース

MPPS・コア(選択必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN101	社会学のための数学	1	2.0	1・2	春AB	月5,6	3E404	ターンブル ステイブーン, 安東弘泰, Phung-Duc Tuan	社会学で必要になる基礎的な数学やその適用手法について網羅的に学ぶ。	
01CN103	社会シミュレーション	1	2.0	1・2	春AB	月1,2	3E404	秋山 英三, 佐野幸恵	社会シミュレーションは、経済、経営、都市交通など、社会科学の多くの分野で活用されている。本講義では、社会シミュレーションの基礎的な手法とその応用について、事例・実例を交えながら概説する。	
01CN104	ゲーム理論	1	2.0	1・2	春AB	火1,2	3E404	澤 亮治, 阿武 秀和	ゲーム理論の基礎を学び、複数の意思決定者の相互依存を理解する。前半は澤が非協力ゲームの基礎を講義する。後半は阿武がベイジアンゲームとメカニズムデザインを講義する。	
01CN105	統計分析	1	2.0	1・2	春AB	木5,6	3E404	小西 祥文	統計分析ソフトウェア「STATA」を用いて、統計的因果推論に準じたデータ分析手法を習得する。	01CH741と同一。
01CN106	企業評価論	1	2.0	1・2	春AB	金1,2	3E404	原田 信行	この科目では、企業評価の考え方、企業分析の基礎、および企業評価に関連する事項について学ぶ。	
01CN107	制度・政策決定論	1	2.0	1・2	春A 春B 夏季休業中	火3,4 火3,4 集中	3E404	有田 智一	政府による政策決定プロセス及び制度の役割について理解する。前半5週では、公共政策過程について概観したあと、都市・地域政策を事例として、各種審議会資料、政策報告書等を題材として、政府での政策内容と制度化・政策決定プロセスについて論じる。後半5週は、2名の非常勤講師による講義により、行政による官民連携事業の導入方法と企業による提案活動の実態に関して、具体的な事例分析や演習を通して理解を深めるとともに、都市計画行政の実践に基づく事例紹介等を行う。	
01CN108	都市と環境	1	2.0	1・2	春AB	水1,2	3E404	谷口 守, 村上 暁信, 雨宮 護	都市計画、環境計画に臨む者の基礎的知識として、都市計画、環境計画分野が直面する現在の課題と、専門家としてそれにどう向き合うかについて、具体的なトピックを取り上げながら解説する。都市計画を専門としてこなかった受講生も念頭に置きながら、幅広いトピックと多様な事例の紹介を交えて都市と環境の将来を考える。	
01CN109	空間情報科学	2	2.0	1・2	春AB	木3,4	3E404	渡辺 俊	情報技術を利用した空間のモデル化・分析手法について、その理論から応用までを概観するとともに、具体的なコンピュータ・アプリケーション(ArcGIS)の操作を通じて理解を深める。	01AD426, 01CF307と同一。
01CN110	社会学ワークショップI	2	1.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	学生が主体となるワークショップなどで積極的な活動を展開できる基礎的能力を身につける。	
01CN111	社会学ワークショップII	2	1.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	学生が主体となるワークショップなどで積極的な活動を展開できる発展的能力を身につける。	
01CN112	ミクロ経済学	1	2.0	1・2	春AB	木1,2	3E404	阿武 秀和, 澤 亮治	前半は阿武が消費者および生産者の理論を講義する。後半は澤が一般均衡理論を講義する。	

MPPS・地域未来創生(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN403	ブロックチェーン技術と地域未来創生	1	2.0	1・2	夏季休業中	集中		前嶋 陽一, 岡田 幸彦	ブロックチェーン技術は、Nakamoto(2008)での内容から、それまでの経済学的な貨幣論の価値観を超えた通貨としての側面が強調されてきた。しかしながら、ブロックチェーン技術の本質は分散記録にもとづく定期的な状態変化とそれに基づく融通にあり、通貨(フィンテック)だけでなく幅広い資源の共有メカニズムとして機能し得ることがわかってきた。本講義では、このブロックチェーン技術の本質を理解するとともに、その地域未来創生とのかわりでの先進事例を知り、そしてブロックチェーン技術を用いた地域サービス設計能力を養う。	
01CN404	地域未来創生概論	1	2.0	1・2	春ABC	集中		吉瀬 章子, 藤川 昌樹, 大澤 義明, 谷口 守	本授業では、地域未来創生教育コースにおける教育内容の概論を与える。	地域未来創生教育コース履修者限定
01CN405	モビリティ・イノベーションの社会応用	1	2.0	1・2	秋AB	火5,6	3E404	谷口 守, 高原 勇, 和田 健太郎	本講義では近年進捗が著しい交通分野での様々な革新(モビリティ・イノベーション)を学ぶとともに、その社会での応用について言及する。特に自動運転や水素エネルギー、MaaS、シェアリングといった最新のイノベーションが適用された際、それらを地域においてどのように取り込み、応用していくかについて教示する。	
01CN411	地域未来創生アクティブラーニングI	3	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	社会学学位プログラムが提供する科目群で学んだ基礎知識をもとに、本講座の目的である地域の未来創生につながる実践的なプロジェクトに積極的に介入することで、事業を推進する能力を涵養する。	
01CN412	地域未来創生アクティブラーニングII	3	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	社会学学位プログラムが提供する科目群で学んだ基礎知識をもとに、本講座の目的である地域の未来創生につながる実践的なプロジェクトに積極的に介入することで、事業を推進する能力を涵養する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN413	地域未来創生アクティブラーニングIII	3	2.0	1・2	通年	応談		社会工学専攻担当教員	社会工学学位プログラムが提供する科目群で学んだ基礎知識をもとに、本講座の目的である地域の未来創生につながる実践的なプロジェクトに積極的に介入することで、事業を推進する能力を涵養する。	

MPPS・資産・資源/空間・環境

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN201	サプライチェーン・マネジメント	1	2.0	1・2	秋AB	火3,4	3E404	倉田 久	本コースではサプライチェーン・マネジメントの基礎的な知識を講義します。	
01CN204	都市・地域解析学	1	2.0	1・2	秋AB	金1,2	3E404	大澤 義明, 鈴木 勉, 石井 儀光	都市・地域解析の基礎知識を習得し、都市や地域の構成要素の配置や密度をモデル化する技法を身に付ける。身近な応用例を見つけて、取り上げた問題のメカニズムを解明したり、解決策を導いたりすることを行う。作業は2・3名でグループをつくって進める。	01AD440, 01CF305と同一。
01CN205	都市リスクマネジメント論	1	2.0	1・2	春AB	金1,2	総合B112-1	糸井川 栄一, 梅本 通孝	都市域における各種自然災害及び人為災害に関するリスクマネジメントについて論じる。まず、ハード・ソフト両面の脆弱性・レジリエンスの観点から、都市災害の意味と特性、各種災害による直接的な被害と波及的な影響の諸様相等について解説する。その上で、リスクの同定、評価、処理などからなるリスクマネジメントのプロセスを踏まえ、実際の都市における災害リスクを対象として、受講者によるデータ分析・考察、適切な防災・減災対策の検討とその発表を行う。これらを通じて都市災害のリスクマネジメントのあり方を議論する。	「都市リスク管理特論」との重複履修不可 01CF308と同一。

MPPS・空間・環境/組織・行動

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN211	都市開発プロジェクト・マネジメント/地域経営論	1	2.0	1・2	秋AB	木3,4	3E404	有田 智一	三菱地所株式会社より招聘した客員教員を中心に、実務経験の豊富な学外の講師より、都市開発プロジェクト・マネジメントに関する最新の実例とその理論について解説する。	
01CN214	マーケティング・サイエンス	1	2.0	1・2	秋AB	金5,6	3E404	近藤 文代	この授業はマーケティングに関連するデータを統計モデルを用いて分析を行うコースとして位置付ける。帰帰モデルを既に知っていることを前提とし、必要に応じて統計的手法を説明する。前半の1時間は講義を行い、後半の1時間は内容に応じてRやエクセルで実際にモデルを構築する。	講義資料は全て英語。講義は英語と日本語で行う。
01CN215	経済・政策分析	1	2.0	1・2	秋AB	木5,6	3E404	奥島 真一郎, 牛島 光一, Tran Lam Anh Duong	本科目では、主に経済学的な観点から、経済政策とその評価手法について考察する。具体的なテーマとしては、環境、貿易、医療、教育などの問題を扱う。経済政策に関する理論、分析手法、具体的知識をバランスよく、かつ、専門的なレベルまで学ぶことが本科目の目標となる。	「公共政策論」(01CN212)、「国際経済分析」(01CN213)の両方の単位を修得した者の履修は認めない。片方だけ修得している場合は可とする。

MPPS・組織・行動/資産・資源

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN221	ビジネス戦略:理論と実践	1	2.0	1・2	秋AB	水5,6	3E404	生稲 史彦, 有馬 澄佳	ビジネスケースや学術論文に基づくディスカッションを行う。ディスカッションを通じて、企業のビジョンや戦略、組織、オペレーションについての理解を深める。	
01CN222	情報セキュリティ	1	2.0	1・2	秋AB	月5,6	3E404	繆 瑩	情報セキュリティを確立するための基盤技術である暗号・認証技術、及び暗号・認証技術を理解するための数学基礎知識を説明する。電子商取引などへの応用についても解説する。	01CF208と同一。
01CN224	ファイナンス:理論と実践(野村証券講座)	1	2.0	1・2	春C	月・木5,6	3E404	近藤 文代, 黒瀬 雄大	証券会社より講師を招き、ファイナンスの実務的な側面についての講義を行うことで、理論面の理解を深める。具体的には、M&Aや証券化といった投資銀行業務にまつわる話題を中心に取り扱う予定である。	
01CN225	時系列解析	1	2.0	1・2	秋AB	金5,6	総合B112-1	三崎 広海	投資や保険を含む広い意味での金融に関するリスクを、定量的に計測、評価、管理するための手法について、その概念や数理的技法の基礎を解説する。	01CF110と同一。要望があれば英語で授業

MPPS・資産・資源

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN303	離散数理	1	2.0	1・2	秋AB	月3,4	3E404	繁野 麻衣子, 八森 正泰	グラフ・ネットワークなどの離散システムの理論や、マトロイド、半順序集合、数え上げなどの組合せ論について論じる。アルゴリズム理論、計算の複雑性についても概観する。	
01CN304	数理最適化理論	1	2.0	1・2	秋AB	金3,4	3E404	吉瀬 章子	この授業では、連続最適化問題を解くための理論とアルゴリズムの基礎を学ぶ。	要望があれば英語で授業

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN305	資産評価論	1	2.0	1・2	秋AB	月5,6	3C201	大久保 正勝, 高野 祐一	資産評価と投資行動に関する基礎理論と実証分析の方法を学ぶ。	「資産価格理論」(01CN102)、「投資科学」(01CN302)の両方の単位を修得した者の履修は認めない。片方だけ修得している場合は可とする。

MPPS・空間・環境

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN311	地域科学	1	2.0	1・2	秋AB	月1,2	3E404	太田 充	都市・地域に関する諸問題を分析する際に用いられる地域科学の理論と実証についての講義を行う。理論では、特に都市土地利用、都市規模に関して家計の住宅選択行動をミクロ経済学的手法を用いた分析方法について詳説する。	
01CN312	都市形成史	1	2.0	1・2	春AB	火1,2	3B202	藤川 昌樹, 松原 康介	前近代に成立した都市の構成が、如何なる影響を現状の都市空間に与えているかにつき、事例を示しながら講義する。講義と平行して文献・絵図史料の分析、フィールドワークを行い、参加者みずからが発表する。	01AD424と同一。
01CN314	住環境計画論	1	2.0	1・2	春AB	火5,6	理科系B107	藤井 さやか, 山本 幸子	人口減少と少子高齢化が早く到来している地域を主対象に、地域資源の活用や住民参加による住環境計画・コミュニティ再生手法について解説する。また実践事例を調査し講義内で発表および受講生間での議論を通して縮小社会における持続可能な住環境計画手法について考究する。	01CN314と同一。2019年度まで開講。01AD425と同一。

MPPS・組織・行動

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN322	組織行動論	1	2.0	1・2	秋AB	金3,4	3E406	渡邊 真一郎	組織行動論分野において蓄積されてきた理論を広範囲に学習レビューする。また、データの収集と解析を要する研究計画を立案し実施するのも本コース要件とする。	前提要件：人間行動の予測についての強い関心と統計学の基礎的知識を有すること。中間・期末試験および調査研究報告書にもとづく総合評価を行う。英語の教材のみを使用する。講義について英語と日本語で重複した説明を行う。
01CN324	生産・品質管理	1	2.0	1・2	春AB	木3,4		有馬 澄佳	前後半に分けて、以下2つの内容を実施する。 1)生産・流通管理における問題解決方法を組み立てられる知識とスキルを習得させる。 2)ものづくりにおける品質管理の概観を理解させる。	実施教室:3E208
01CN326	ミクロ計量分析	1	2.0	1・2	秋AB	木1,2	3E404	作道 真理	計量経済学の基礎的な理論を学び、消費者や企業などの行動を定量分析するミクロ計量分析の手法を習得する。実証分析や政策評価に必要なデータ分析の技術習得を目標とする。	

MPPS・自由

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN053	社会工学ファシリテーター育成プログラムI	3	2.0	1・2	通年	応談		社会工学専攻担当教員	社会工学に関するプロジェクトに積極的に介入し、プロジェクトの進行に寄与できる能力を実践を通して養う。	02CN051と同時実施。
01CN054	社会工学ファシリテーター育成プログラムII	3	2.0	1・2	通年	応談		社会工学専攻担当教員	社会工学に関するプロジェクトにおいて協働のプロセスを管理、展開できる総合的能力を実践を通して養う。	02CN052と同時実施。
01CN055	社会工学インターンシップ	3	2.0	1・2	通年	応談		社会工学専攻担当教員	社会工学に関連する機関でのインターンシップを行う。	
01CN056	社会工学特別講義I	1	2.0	1-3					This course provides an introduction to applied econometric analysis, with applications to analyzing international economic data.	西暦偶数年度開講。02CN054と同一。英語で授業。
01CN057	社会工学特別講義II	1	2.0	1-3	秋BC	集中		モヴシユク オレクサンダー	計量分析による国際経済比較について講義をおこなう。	西暦奇数年度開講。02CN055と同一。
01CN058	社会工学特別講義III	1	2.0	1-3	通年	随時				02CN056と同一。
01CN059	社会工学ファシリテーター育成プログラムI	3	1.0	1・2	通年	応談		社会工学専攻担当教員	社会工学に関するプロジェクトに参加し、プロジェクトの進行に寄与できる基礎的能力を実践を通して養う。	
01CN060	社会工学ファシリテーター育成プログラムII	3	1.0	1・2	通年	応談		社会工学専攻担当教員	社会工学に関するプロジェクトにおいて、協働のプロセスを管理する基礎的能力を実践を通して養う。	
01CN061	社会工学特別講義IV	1	1.0	1・2	秋AB	集中	3E404			開講未定 02CN059と同一。
01CN062	社会工学特別講義V	1	1.0	1・2	秋C	集中	3E404	水野 誠		02CN060と同一。
01CN064	社会工学特別講義VII	1	1.0	1・2	春C	集中		モシェ ハヴィブ		02CN062と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN065	社会学特別講義VIII	1	1.0	1・2	通年	集中				開講未定 02CN063と同一。

MPPS・専門(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01CN001	社会学修士基礎演習I	2	2.0	1	通年	応談		社会学専攻担当教員	1年次において指導教員(若しくは指導教員を含むリサーチ・ユニット)が主催するゼミに参加し、修士論文を執筆するための基礎的な知識を習得する。研究倫理に関するプログラムを受講する。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
01CN002	社会学修士基礎演習II	2	2.0	1	通年	応談		社会学専攻担当教員	指導教員(若しくは指導教員を含むリサーチ・ユニット)が主催するゼミに参加し、修士論文を執筆するための専門的な知識を習得する。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
01CN003	社会学修士特別演習I	2	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	指導教員の指導の下、修士論文を執筆するに当たり必要となる関連する研究のレビューを行う。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
01CN004	社会学修士特別演習II	2	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	指導教員及びAG教員に対して、修士論文に関する計画発表を行い、論文執筆までの見通しを得る。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
01CN005	社会学修士特別研究I	2	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	指導教員とAG教員に対して、修士論文に関する中間発表を行い、論文執筆までの見通しを得る。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
01CN006	社会学修士特別研究II	2	2.0	1・2	通年	応談		社会学専攻担当教員	審査委員の同席のもと、執筆した修士論文に関して最終発表を行い、本論文の審査を受ける。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。

※社会学学位プログラム担当教員

藤川昌樹、秋山英三、有田智一、糸井川栄一、イリチュ美佳、大澤義明、岡本直久、川島宏一、小林寛、近藤美則、繁野麻衣子、鈴木勉、谷口守、張勇兵、堤盛人、長谷川洋、松橋啓介、繆瑩、村上暁信、米野史健、山野博哉、吉瀬章子、渡辺俊、渡邊真一郎、兩宮護、安東弘泰、生稲史彦、石井儀光、上市秀雄、梅本通孝、大久保正勝、太田充、大西正輝、岡田幸彦、奥島真一郎、甲斐田直子、倉田久、小西祥文、作道真理、澤亮治、高野祐一、谷口綾子、ケンブル S. ジョン、橋本浩良、八森正泰、原田信行、藤井さやか、フドック トゥアン、松原康介、山本幸子、和田健太郎、有馬澄佳、近藤文代、阿武秀和、五十嵐岳、牛島光一、折原正訓、金澤輝代士、黒瀬雄大、佐野幸恵、チャン ラン アン スーン